

# 平和を祈って… 広島平和大使



平和記念式典で献花の順番を待つ平和大使。

## 広島平和大使として平和記念式典に参加して

吹田市広島平和大使団長 吹田市人権啓発推進協議会会長 山本 冬彦

吹田市では5年に一度、8月6日の朝に開催される広島平和記念式典に平和大使として、市民の代表を派遣し、吹田市長の平和メッセージを伝え、吹田市並びに吹田市民の非核平和を目指す決意を内外に表明しています。



8月6日平和記念公園で平和記念式典に参加しました。

本年度はその派遣の年に当たり、吹田市内の中学生18名および吹閉会（吹田市原爆被害者の会）の浅野龍夫氏（副団長）と私（山本）が団長としてこの役目を担わせていただきました。数回の事前学習を経て、8月5日の午後、広島平和記念公園に到着し、原爆の子の像への黙とう、献花、広島平和記念資料館の見学、そして、被爆者からの被爆体験を直接お聞きしました。翌朝は市長メッセージの伝達、平和記念式典への参加、慰霊碑への献花を行い、非核、平和への思いを新たなものにしました。大使として参加していただいた中学生のみなさんは、この二日間、大使としての役目を十分に果たされ、それぞれの胸に平和への切実な想いを改めて刻まれたことと思います。

残念ながら、現在、世界ではいまでも戦争が行われ、人間としての平和で安全な生活が脅かされているたくさんの人たちがいます。平和大使としての活動を通し、一刻も早い完全な平和の実現と、それを実現するための世界中の人たちの連帯の輪がさらに広がることを祈念し、平和の大切さを改めて実感することができました。



原爆の子の像の前に献花し、手を合わせました。

## 広島平和大使の中学生の報告文より（抜粋）



被爆者の体験談を聞きました。

前の日の夜はただただ焼けるような暑さの中そして夏の青い空の下で一心に何かを祈りたいと思っていた。八月六日、広島に、私の今立っている地に六十八年前原爆が落とされたと思うとふいに心臓を握られたかのような痛みと吐き気が襲ってきた。「黙祷」重々しい声とともに視界はフェードアウトする。急に空気がのしかかる感じがして鐘の音が心臓に深く響いてくる。目を開けたら本当にたくさんの方が祈っていて全員の祈りとか思いとかが一緒くたになって織り混ざり、空の彼方まで届いた気がした。（第一中学校3年 蘭牟田 七緒さん）

小学校で一度行ったことがあるはずなのに、あまりに忘れていることが多すぎて、大切な事を忘れてしまうことへの怖さと、戦争の悲惨さを皆に伝えるという、大使としての使命感を感じました。平和式典では、平和に対する国際的な注目を実際に体感することができて良かったです。ツイッターで「独り善がりだ」とつぶやいた人がいたようですが、この光景のどこが「独り善がり」なのか、過去の過ちを教訓とし、未来へ生かすこの式典のどこにその要素があるのか、私にはわかりません。それくらい平和を願う人々が集まるこの式典は厳かで、大きな力を持っていました。（豊津中学校3年 太田 朱音さん）



吹田市民、小学生、園児などがつくった千羽鶴をささげました。

# 吹田市 権協だよ



じんけんネット吹田

No.35

平成25年(2013年)10月

## —2013— 人権フェスティバル

～地域から心をつなぐ人権の輪～

一人ひとりの違いを認め合い、共に生きることのできる社会をめざし、毎年12月に「人権フェスティバル」を開催しています。

今年は「劇団大阪」による「親の顔が見たい」の舞台公演を行います。…一人の女子生徒が教室で命を絶つ。遺書に残された5人の名前。集められた「親たち」が学校で話し合う…まさに、今の社会の重要課題を扱った劇です。次々出てくる各家庭の実態や親子のあり方に思わず息をのみ、知らぬ間にわが家のことを振り返っていることでしょうか。さらにこれらの問題に自分はどう向かっていけばいいのか、どう考えていったらいいのか?!と、次々考えることを迫られていきます。

人権フェスティバルでは初めての演劇公演。第40回大阪新劇フェスティバル作品賞を受賞しており、思わず引き込まれる展開で、心に響く演劇です。是非多数の方の参加をお願いします。

●日時 / 12月8日(日)  
13:30～16:00  
(開場 13:00)

●場所 / メイシアター  
中ホール  
(阪急吹田駅前)

入場無料 事前申込不要 手話通訳あり

## 劇団大阪・公演 「親の顔が見たい」

・作 畑澤 聖悟  
・演出 熊本 一



## 男子厨房に入るも楽し

吹六地区委員会 福井博夫さん

昔は「男子厨房に入らず」と言ったそうですが、よい年をして即席ラーメンしかできないのは本当に情けない…そこで一念発起して、近くの公民館で「男性のための料理教室」に参加しました。慣れない手つきで、写真のように台所しごと挑戦しました。やってみて料理の奥の深さと、楽しさたいへんさを肌で感じました。

こんな機会が増えていけば、男女間や家族の相互理解がより深まり、日々の生活がより豊かになりそうな気がします。



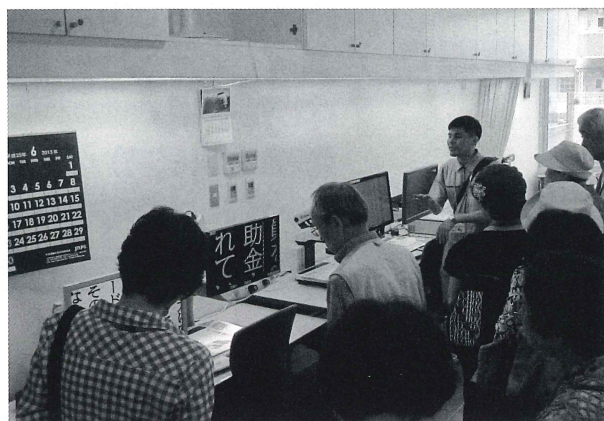
「男の料理教室」は本市の各地区公民館などの施設で開催されていますので、奮ってご参加ください。

# 人権協地区委員会活動の紹介

初めて行った現地研修や自然を守る活動の紹介です。

## 現地研修の感想

平成25年6月28日、現地研修会として、「京都ライトハウス」に行きました。



拡大読書器などの用具・機器展示コーナーの見学

「京都ライトハウス」は、「京都に盲学生のために図書館を」という願いを受け、「愛の鉛筆運動」を行い、10年がかりで創立されたそうです。

全国初の「読み書きサービス」が行われていたり、障がい者の総合施設として、全国でも注目されている、大変すばらしい施設でした。

桃山台地区委員会 内田 順之さん

## 都市に残された自然 “里山の役割と保存”

市街化された吹田に、里山、里地はどこに残っているのでしょうか、忘れられる里山について、里山はどのような役割をしてきたか、今後の保存の在り方についての知識を広めるために講座を持ちました。



里山、里地は、自然景観、災害時の避難地として、また農産物の生産など、里山の機能を十分に発揮し、地域づくり、人づくり、文化の創造継承に貢献してきたのです。現在では、暮らし、教育、子育てに、よき生活を目ざし、あらゆることに挑戦して、次の世代に繋げるよう、また地域づくり、再生に大いに役立つものだと思います。

今、里山づくりに挑戦している、中学校、小学校があります。ピオトープ池があり、メダカがいます。田植え、稲刈り、脱穀、みどりのカーテン作り、水の環境、NPO環境学習協会の体験学習支援などを行っていて、希望する学校も増えています。身体で覚え、体験の中で助け合い、豊かな心を育てています。古江台地区でも、この講座で学んだことを活かしていこうと考えています。

古江台地区委員会 宮浦 ミネ子さん

# あつまれ! みんなの声

## 「一人一人の人権を大切に」

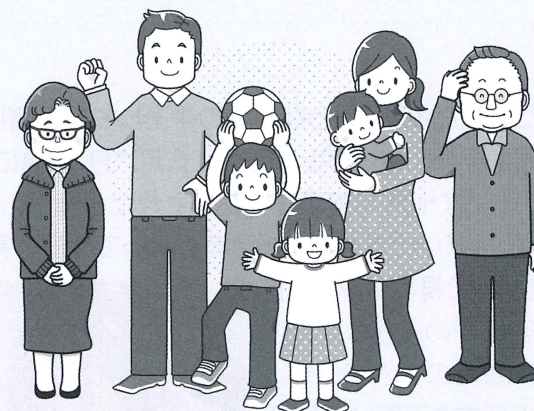
人権擁護委員という存在をご存知でしょうか。各市町村には法務省より委嘱された人権擁護委員がおり、吹田市でも住民の様々な人権に関わる相談を受けています。自由人権思想は誰もが生来保障されたもので、その人がその権利を侵されぬように、或いはその回復の為の人権擁護委員です。

しかし、誰にも相談出来ずに一人悩み苦しんでいる人は多くおられます。

いじめに因る子どもの自殺は誠に残念で胸が掻きむしられる思いです。その本人がその苦しみを伝えられないでいるなら、誰でも、本当に誰でもいい、それを感じたなら外部の人間に伝えて頂きたい。そのような時に、私達人権擁護委員はまさにその為に存在していると云っても過言ではありません。児童に関わる相談所は全国には多々ありますが、それだけでは足りないのが現状かもしれません。勿論、いじめ問題だけではなく、世の中におよそ存在する全ての人権侵害に対し、正当な道筋に導くのは簡単な事ではありません。

人権擁護委員は守秘義務をもって問題調査と解決の糸口を探ります。私たちは、様々な人権問題に直面している人に心から寄り添うべきであると思います。

子供の人権110番、女性の人権ホットラインなどのポスターがよく掲示されていますが、殆どが公共の建物内にあります。これでは残念ながら私達の活動の適切な周知として弱く感じられます。



人権啓発推進協議会の各地区委員様には、人権擁護委員の役目を、この紙面をお借りして、ご周知頂きますようお願い申し上げます

人権協副会長 藤原 俊介  
(吹田地区人権擁護委員)

## あなたも人権啓発推進委員になりませんか!

人権啓発を目的に、各地区でいろいろな活動が行われています。あなたも人権啓発推進委員になって、一緒に活動しませんか。…下記の人権協事務局までお問い合わせください。…

吹田市人権啓発推進協議会 事務局：吹田市 人権文化部 人権平和室内  
〒564-8550 吹田市泉町1-3-40  
電話 06-6384-1539 FAX 06-6368-7345  
E-mail suitajinken@wi.kualnet.jp